

140	139	138	137	136	135	134	133	132	131	130	129	128	127	126	125	124	123	122	121
習うより慣れる	生兵法は大怪我の元	怠け者の節句働き	七転び八起き	情けは人のためならず	なくて七癖	泣く子と地頭には勝てぬ	泣きっ面に蜂	長いものには巻かれる	鳶に油揚げをさらわれる	鳶が鷹を生む	飛んで火にいる夏の虫	どんぐりの背比べ	取らぬ狸の皮算用	隣の花は赤い	年寄りの冷や水	所変われば品変わる	時は金なり	遠い親戚より近くの他人	豆腐にかすがい

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
大切なもの、または自分のものになると思っただけのもの、いきなり横からうばわれること。	中途半端な知識・技術はかえって失敗のもとである。	権力のある人や目上の人には、逆らうよりも従ったほうが得だということ。	何回失敗してもくじけずに、勇気を出して立ち上がること。	何の効果も反応もないことのたとえ。	理屈の通じない者や権力者などには、いくらこちらが正しくても勝てないから、従うしかないということ。	年寄りが、年齢に合わない無理や無茶をすることのたとえ。	不運なことの上に、さらに不運なことが続て起こること。	平凡な親が、才能のある優れた子どもを産むことのたとえ。	その土地によって言葉や習慣は違うものだということ。	人に親切にすると、巡り巡って自分にいい報いがかえってくるので、自分のためにもなるということ。	物事は、人や本から教わるよりも、体験として実際に経験した方が身につく。	他人の物は自分のものよりもよく見えて、うらやましく思う。	まだ決まっていなことを当てにして、計画を立てたり、利益を考えたりすること。	自分から進んで危険を冒し、災難を招くこと。	普段怠けている者ほど他人が休んでいるときに限って忙しそうにするものだ。	どんな人でも、多かれ少なかれ、何か癖をもっているといふこと。	どれも似たようなものばかりで、大した違いがないこと。	時間はお金と同じように貴重なものだから、無駄に使ってはいけない。	いざというとき頼りになるのは、遠くにいる親戚ではなく、日ごろ付き合っている近所の他人だということ。